

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成 30 年 2 月 8 日 第 119 号
浜田市農林業支援センター

はじめに

暦の上では「立春」を過ぎましたが、寒い日が続いています。この冬は何度も強い寒気の南下があり、大雪や低温による農業施設や農作物への被害が発生しています。早期の復旧が望まれます。さて、浜田市農業再生協議会では、この度、平成30年産米の生産数量目安の配分について、本だよりの裏面の表「各自治区への作付目安数量」とおり、お示したところです。金城自治区、弥栄自治区におきましては「備蓄米」の対応もお願いしております。また、米の直接支払交付金の7.500円/1反はなくなりましたが、産地交付金による作物助成は従来どおりありますので、ご活用を頂きますようお願いいたします。
(浜田市農林業支援センター長 佐々本 芳資郎)

1. 各支援チームからの話題

新規就農者支援チーム (担当: 石津・横田)

平成 30 年 1 月 23 日 (火) に浜田市、江津市の農業研修生・新規就農者の技術・知識の向上と経営感覚の育成を目的に、先輩農業者の圃場等の視察及び指導農業者との意見交換会を開催しました。また、会の終了後、懇親会も行いました。

小松ファームで視察を行った後、金城町の中下祐介さんのお話を聞き、その後の意見交換会では、様々なご意見をいただき、農業士、研修生、関係機関を含め多くの方々にとって有益な時間となりました。今後も引き続き研修生・新規就農者の技術・知識の向上と経営感覚の育成につながるよう交流を図れる場を提供し、仲間作りの支援を行っていきます。

研修生等と指導農業士との交流会を開催



現地視察及び意見交換会の様子 (視察先 小松ファーム)

認定農業者支援チーム (担当: 小浴・石津)

平成 30 年 1 月 26 日 (金) 益田合同庁舎において、島根県農業再生協議会担い手部会主催による「平成 29 年度農業経営レベルアップ研修会」が開催されました。この研修会の目的は、農業経営の規模拡大や多角化、事業の継承を考えるうえで、経営の法人化は重要な手法の一つで、地域農業の発展や安定化を図るためのものであり、地域の認定農業者が優れた経営感覚を高め、経営計画の作成や経営の振り返りを自律的に行い、さらにより一層の経営基盤の強化を推進させるために、個人経営から法人化するための意義や必要性についてを学ぶ研修会でした。

この研修会のなかで、国分町の株式会社 三島ファーム 代表取締役の三島 淳寛さんが法人化に至った経緯や法人化のメリット・デメリット、これから法人化を目指す方へのアドバイス等について発表されました。なかでも、法人化するしないにかかわらず、農業経営を安定化に導くためには、当初の農業経営改善計画をしっかりと立ることが必要とのことでした。

農業経営の法人化について



『平成29年度浜田地方集落営農推進研修会』について

主催: 浜田地方農林業振興協議会・島根県西部農林振興センター・いわみ中央集落営農組織連絡協議会

平成30年1月27日(土) 浜田合同庁舎大会議室において、「平成29年度浜田地方集落営農推進研修会」が開催されました。関係者約60人が参加し、研修会では集落営農の推進方向や今後の活動のヒントになる事例が発表されました。今後、将来にわたり安定した農業経営の維持、発展を図るためには、個別の対応では困難な状況にあり、営農の組織化、法人化により経営強化の必要性について、学ぶことができました。



【事例報告】

- 畦畔除草対策
 - セントピーチグラスを利用した畦畔除草による省力化
 - リモコン式草刈り機の紹介
- 後継者対策(収入確保・多角経営)
 - 「菌床椎茸栽培」の紹介
 - 集落放牧の紹介
- 農作業の省力化
 - 農業用ドローンによる病害虫防除



2. 人材育成講座の開催

浜田市と島根大学生物資源科学部は、平成22年10月に包括連携協定を締結し、人材育成や農林水産業の振興、地域資源の活用等の分野で連携を進めています。この度、農業・生産加工に携わる方々を対象に、下記の通り「人材育成講座(※詳細は別紙参照)」が開講されますので、積極的にご参加ください。

【開催日時】 平成30年3月16日(金) 午後1時30分～午後5時

【会場】 浜田市役所 4階 講堂(浜田市殿町)

【講座内容】 講演: 「農産物、加工品のマーケティングについて」
分科会: 「西条柿関係」・「トマト関係」

【申込・問合せ先】 「はまだ産業振興機構」

電話 0855-25-9502 FAX0855-23-4040



3. 平成30年産米の生産数量の目安が決まる！！

【各自治区への作付目安数量】

浜田市農業再生協議会では、1月12日に「臨時総会」を開催し、平成30年産米の生産数量の目安を管内で5,214トン、面積で1,051.2haと決定しました。

これを受けて、1月22日～24日にかけて管内5会場で、農業振興委員さんに集まっていただき説明会を開催しました。

水稻生産者の皆様には、生産数量の目安の配分についてご協力をお願いいたします。

自治区	主食用水稻作付 希望面積 (㎡)	主食用水稻作付 目安面積 (㎡)
浜田	1,765,811	1,765,811
金城	3,452,558	3,325,538
旭	2,238,161	2,238,161
弥栄	1,735,506	1,722,486
三隅	1,460,007	1,460,007
合計	10,652,043	10,512,003

○当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
○ご意見、掲載をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741 (JAしまね いわみ中央地区本部 分館2階)

TEL: 0855-22-3500 FAX: 0855-22-3477 E-mail: n-shien@city.hamada.lg.jp